

(様式1)
報道資料提供

提供日	令和 5 年 4 月 4 日 (月)
発表事項 (タイトル)	～全国初！官民共創によるソーシャルクレジットの創出～ 伊丹市・飯南町・阪南市・(株)ソーシャル・エックス 連携協定を締結します。
広報ポイント	<p>政府は、2050年までに「温室効果ガスの排出削減」並びに「削減しきれない温室効果ガスの吸収量の差し引き」により「温室効果ガスの排出を全体としてゼロ」を実現する「カーボンニュートラル」を宣言しています。それに伴い、「温室効果ガス排出権取引」であるカーボンクレジットが注目されています。</p> <p>「都市自治体 伊丹市」「森林保有自治体 飯南町」「海洋保有自治体 阪南市」は、互いの地域資源を生かし、補完し支え合う「地域循環共生圏」の考えを踏まえ、資源循環・環境保全活動等の交流を通じ、それぞれの地域における社会課題解決により創出される「新たな価値を持ったカーボンクレジット（ソーシャルクレジット）」に取り組みます。</p> <p>「(株)ソーシャル・エックス」は、官民双方の伴走者として、様々な社会課題解決型の新規事業開発を支援してきたノウハウを使い、本事業の社会課題解決に向けた新たな企業の参画・官民共創を促すことで本取組の拡大を行います。</p> <p>※「地域共生圏」とは、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。</p>
要旨・経緯	<p>【協定締結式について】 脱炭素社会実現に向けた地域循環共生に関する連携協定式 日 時：令和5年4月10日（月） 15時00分～15時45分 場 所：伊丹市役所 3階 市長応接室（住所：伊丹市千僧1-1）</p> <p>【連携事業】 (1) 各地域の特性を踏まえたカーボンクレジット創出・活用に関すること。 (2) カーボンクレジット創出・活用を通じて、各地域の住民・企業が主体となる地域活性化に関すること。 (3) カーボンクレジット創出・活用を踏まえた、自治体と企業等との連携促進に関すること。 (4) 「カーボンクレジット」及び「地域循環共生圏構築」に係る普及・啓発に関すること。 (5) その他目的達成のために必要な事項に関すること。</p> <p>※取組の詳細につきましては、資料2-1、2-2参照</p>
添付資料	
担当課	阪南市 未来創生部 シティプロモーション推進課 担 当 前田・楠本 電 話 072-471-5678 (内線2339) FAX 072-473-3504